

氏名	李 豪
学位の種類	修士（鍼灸学）
学位記番号	鍼修第482号
学位授与の日付	令和6年3月12日
学位授与の要件	大学院規則第30条および学位規程第4条該当
学位論文題目	中華人民共和国建国前後における承淡安の針灸学教科書に関する 経穴主治内容の比較
指導教員	和辻 直

## 学位論文の要旨

### 【目的】

中国近代鍼灸学の軌跡には、近代日本鍼灸を参考にしながら針灸学を模索していた時期がある。本研究は中華人民共和国（中国と略）建国前後に記した承淡安の針灸学教科書の経穴主治内容を比較し、類似と相違を検討する。

### 【方法】

承淡安が著した中国建国後の『中国針灸学』を主対象とし、建国前の『中国鍼灸学講義』と比較する。この二書の経穴編にある原穴、郄穴、絡穴、募穴、背部俞穴（五要穴）の伝統医学症候の主治内容を分析する。分析は編集距離を用いた方法を用いて、二書の主治内容を比較し、類似度を自然言語処理に基づき、一致（100%）、高類似（50%～99%）、低類似（25%～49%）、不一致（0%～24%）に分類した。

### 【結果】

二書における五要穴の主治内容の平均類似度（一致、高類似、低類似を含む）は56%で、類似が低かった。また高類似度以上（一致と高類似）では42%、半数以下であった。また各経の五要穴の主治内容における高類似度以上が70%以上の割合を占める経穴は全60穴中7穴（11.7%）、逆に類似度が不一致で70%以上の割合を占める経穴は全60穴中9穴（15.0%）であった。

### 【考察】

二書における主治の相違を時代背景、執筆意図、五要穴の内容等から考察した。二書の類似度が低かった理由は『中国針灸学』の主治内容が、古典の主治に従った記載方法である『中国鍼灸学講義』とは違い、古典の主治を部分的に引用し、その対照に西洋医学の病名も主治に加えていた。また『中国針灸学』の西洋医学の主治内容は玉森氏著『鍼灸経穴医典』の主治内容と類似しており、日本鍼灸の影響を受けていることが示唆された。さらに五要穴は治療に有用な経穴であるために主治数が多く記載されたことも、二書の時代背景、執筆意図等の要因も重なって、主治内容の類似度に影響を与えたと考えられた。

### 【結語】

二書における五要穴の主治内容は、執筆の背景や意図、記載方法等の要因により、類似度が低くなった。